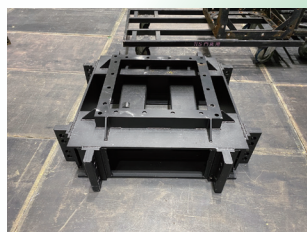
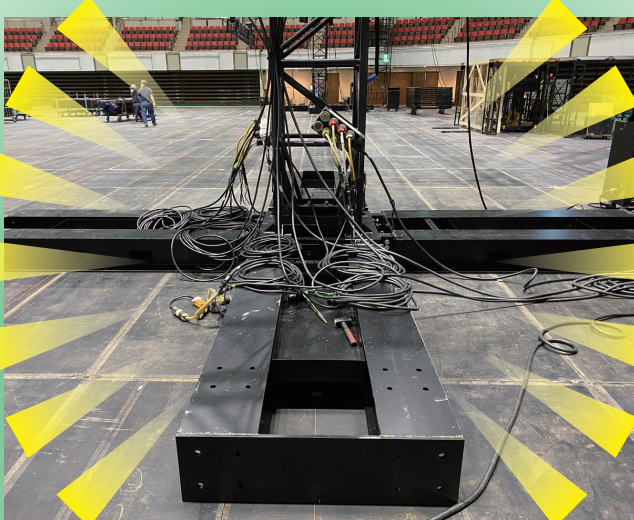




“安全”と“現場効率”を兼ね備えた 750角ベース機材を導入しました



▲ベース中央部品の写真



▲ベース十字部品の写真



▲モーターをかけ吊り上げてから設置



▲接続部は印籠式

従来の山留め鉄骨ベースや、750角トラスアウトリガーと異なる「PINbase(ピンベース)」を現場で使用しました。フォークリフトと少数の作業員で組み立てができるようになり、ピンを打ち込むことで接続も容易になりました。不要なボルト・ワッシャーが散らばることもなく、インパクトレンチの作業音もなく、現場作業環境に秀でたベースです。機材から現場環境を変えることのできる好例になりました。

9月は悪天候が多い傾向にあります！

日本気象協会によると、この先1か月は全国的に日照時間が平年並みか少なく、降水量は平年並みか多くなり、晴れる日が少なくなる予報です。気温は高温傾向で、季節の進み方はゆっくり進むようです。降水量が増えるということは、台風の発生率も高まり、ゲリラ豪雨や雷も増え7月8月と同じように突然天候が変化する恐れが十分に考えられます。引き続き、野外現場が多く開催される中で、しっかり対策を取る必要があります。

ゲリラ豪雨の兆候

ゲリラ豪雨の発生の前兆として「急に真っ黒な雲が近づいてくる」「雷鳴が聞こえる」「稲光が見える」といった天候の急変が挙げられます。警報・注意報の発表以外にも、天気予報での「大気の状態が不安定」「天気急変」などの表現にも注意しましょう。

雷の兆候

雷の前兆として、真っ黒な雲や冷たい風・突風・急な雨・霰(あられ)・雹(ひょう)などの発生があります。これらの前兆は、いずれも発達した積乱雲によってもたらされます。ただし、風や雨の変化よりも先に落雷が起こるケースもあるので雷鳴や雷光に気づいたら早めに避難することが大切です。

昼夜の寒暖差に注意

処暑になると暑さが落ち着いていき厳しい残暑が次第に和らぎ、朝夕は涼しさも感じられる頃です。同時に台風季節の到来でもあります。ただ、東・西日本では日中に汗ばむ陽気が見られる年もあり、ぶり返した暑さによる熱中症や、昼夜の寒暖差による体調不良にも十分注意が必要です。